



山火事防止アニメーション

リスのまとい

皆さん、山に登ったとき、こんな看板をご覧になったことはないでしょうか？

かわいらしいリスがまといを持ち、山火事防止を訴えている看板です。

山好きの方、ご年配の方、このリスはおなじみなのではないでしょうか？また、このリスはなんのキャラクターなのだろうか、疑問に思っていた方も多いのではないのでしょうか？

このリスは、昭和46年に、林野庁で山火事防止キャラクターの動物を募集、昭和47年に、シンボルマークとして制定されたものです。

実はそのリスが主役の「リスのまとい」というアニメーション映画が存在しているのです。昭和49年に製作された、16mmフィルムのユーモアあふれる15分短編映画です。企画は林野庁。演出の石黒昇さんは、「宇宙船艦ヤマト」や「ドラえもん」など、多くの作品に関わっています。

観たことがない方が多いと思うので、話の内容を短く紹介します。殿様の大事にしている山で山火事を発

生させたという疑いで捕えられた、きこりの孫兵衛とその仲間。その兵衛に命を救われたリスが真犯人を探し出し、その褒美としてまといをもらおう、という話です。どうやって孫兵衛たちの疑いが晴れるのか、また、リスが疑いを解くために奔走する様子がかわいらしく、見所です。小さいお子さんからお年寄りの方々まで幅広い世代の方が楽しむことができます。なんと、その「リスのまとい」がこのたびDVD化されることになりました。

林野庁ホームページにて、「リスのまとい」の映像をご覧いただけます。

もし、貸し出しを希望される方がいらしたら、林野庁林政課広報担当までご連絡ください。

山火事発生件数は、春先が特に多くなっています。「リスのまとい」を観て、山火事の危険性について再認識するとともに、林野での火気の取り扱いには改めて気をつけるようにしましょう。



リスのまといの映像は、以下よりご覧頂けます。http://www.rinya.maff.go.jp/j/kouhou/eizou/matoi_risu.html
DVDの貸し出しをご希望の際は、以下にご連絡ください。林野庁 林政課 渉外広報班 03-3502-8026

Topics

日本建築学会

温暖化対策として木材利用などを提言



日本建築学会は、4月20日、提言「地球温暖化対策アクションプラン2050 ―建築関連分野のカーボンニュートラル化への道筋―」を、今井敏 林野庁長官に提出しました。

本提言では、木材は今後主要な建築資材としての地位を回復していくべきものとし、また、森林資源の保全と利用促進の各地での計画や、地産地消、建築材料の木材の利用の促進など、温暖化対策の観点から、木材利用を積極的に働きかける内容となっております。

平成25年には、土木学会から「土木分野における木材利用の拡大へ向けて」と題する提言がなされるなど、各界から木材利用を進める動きが活発化しています。

提言の内容は以下よりご覧になれます。

○日本建築学会 提言「地球温暖化対策アクションプラン2050」
<http://www.aij.or.jp/scripts/request/document/20150413.pdf>

○土木学会 提言「土木分野における木材利用の拡大へ向けて」
<http://committees.jsce.or.jp/mokuzai/node/35>